

第1章 昭和59年度山口大学構内遺跡調査の概要

山口大学構内には縄文時代後・晩期から近世にかけての集落跡の所在する吉田地区をはじめとして県内各地に分散する附属施設を含めた各地区に周知の遺跡が埋存している。

山口大学埋蔵文化財資料館は学内共同利用施設として、これら各地区において現状変更を伴う諸工事に際し、埋蔵文化財保護の観点から調査・研究を行なっている。すなわち、埋蔵文化財調査を要する場合は、埋蔵文化財資料館運営委員会の議を経て、周辺における既往の調査結果や工事内容等を勘案しながら、埋蔵文化財に対する影響の度合に応じて立会、試掘および事前に区分した各調査方法に準拠して発掘調査を実施し、保護措置を講じている。

今年度は事前調査4件、試掘調査3件、立会調査5件の計12件の調査を実施した(Tab.1)。

Tab. 1 昭和59年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査地区	構内地区	構内地区割	調査面積 (m^2)	調査期間	挿図番号
事前調査	医学部浄化槽新営予定地	小串地区		44	5月1日～9日 8月1日～7日	Fig. 56-4
	医学部体育館新営予定地 (既設建物撤去地域)	"		65	5月1日～ 5月17日	" -5
	大学会館ケーブル布設予定地	吉田地区	N-12・14	160	7月5日～ 7月26日	Fig.55-58
	大学会館排水管布設予定地	"	K・L-13	180	9月10日～ 10月8日	" -59
試掘調査	医学部基幹整備予定地	小串地区		28	5月22日～ 6月4日	Fig.56-6
	医学部臨床講義棟・病理解剖棟 新営予定地	"		38	6月11日 6月28日	" -7
	学生部テニスコートフェンス 改修予定地	吉田地区	B-18 C-16～18 D-16・17 E-15～18	25	10月1日～ 10月8日	Fig.55-57
立会調査	経済学部樹木移植地区	吉田地区	K-19・21		11月8日	" -56
	工学部尾山宿舍配管埋設工事地区	常盤地区			12月12日	Fig. 33
	教育学部附属光小・中学校 焼却場新設地区	光地区			8月10日	Fig. 34
	ボート部艇庫合宿研修所整備地区		K-19・21		4月27日	Fig. 35
	ヨット部艇庫合宿研修所整備地区				4月27日	Fig. 36

吉田地区の調査

事前調査2件、試掘調査1件、立会調査1件の計4件の調査を実施した。

大学会館ケーブル布設に伴う事前調査では、調査区南半部において一部中世のものを含むが、主として弥生時代から古墳時代にかけての土壌、柱穴が検出された。土壌には従来吉田地区内では南門周辺においてのみ確認されている弥生時代前期のものがあり注目される。また、今回の調査区周辺では北から南へ張り出す低丘陵上に弥生時代後期および古墳時代前半期の竪穴住居跡が検出されており、弥生時代前期以降の集落の立地、形成過程、規模および構成を知る貴重な資料を提供した。出土遺物には弥生土器、歴史時代土師器、瓦質土器等がある。

大学会館排水管布設に伴う事前調査では弥生時代後期から室町時代にかけての土壌、溝、柱穴が多数検出されたが、遺跡の分布範囲は調査区東半部に限定される。また、中央部で南から北への地山の下降が観察され、西半部では弥生時代から中世にかけての時期幅をもつ遺物を包含する二次堆積層が認められることから、ケーブル布設に伴う調査結果とあわせ今回の調査区中央部以東を中心に弥生時代から室町時代にかけての集落が継続的に立地・形成されたことを示す資料が得られた。各遺構からは弥生土器、土師器、瓦質土器、輸入陶磁器をはじめとして鞆口、鉄鏃など注目すべき遺物も少なくない。

テニスコートフェンス改修に伴う試掘調査では昭和58年度にテニスコート南半部で実施した立会調査で確認された弥生時代から古墳時代にかけてのものと思われる遺物包含層が当該地域全面に分布していることが確かめられた。

小串地区の調査

事前調査2件、試掘調査2件の調査を実施した。

事前調査は昭和58年度の体育館新営に伴う試掘調査において、既設建物によって調査が不可能であった地域および体育館周辺の浄化槽新営に伴うものである。検出遺構には中世から近世にかけての用排水施設の堰ないしは補強用の木製杭がある。また、土師器、瓦質土器等鎌倉時代後半から室町時代にかけての遺物が出土し、体育館周辺地域における中世後半の遺物は、ほぼ限定された二次堆積層に包含されていることが指摘されるに至った。

基幹整備に伴う試掘調査では幼殻を含む数種の貝類が多量に出土し、当該地域周辺における古生物相、古環境を知る貴重な資料となった。また、臨床講義棟・病理解剖棟新営に伴う試掘調査では昭和58年度以降の調査結果から医学部キャンパス東端部から北半部縁辺にかけての土層の堆積状況を比較・検討する資料が得られ、旧地形の把握に重要な基礎資料を提供した。

(河村)

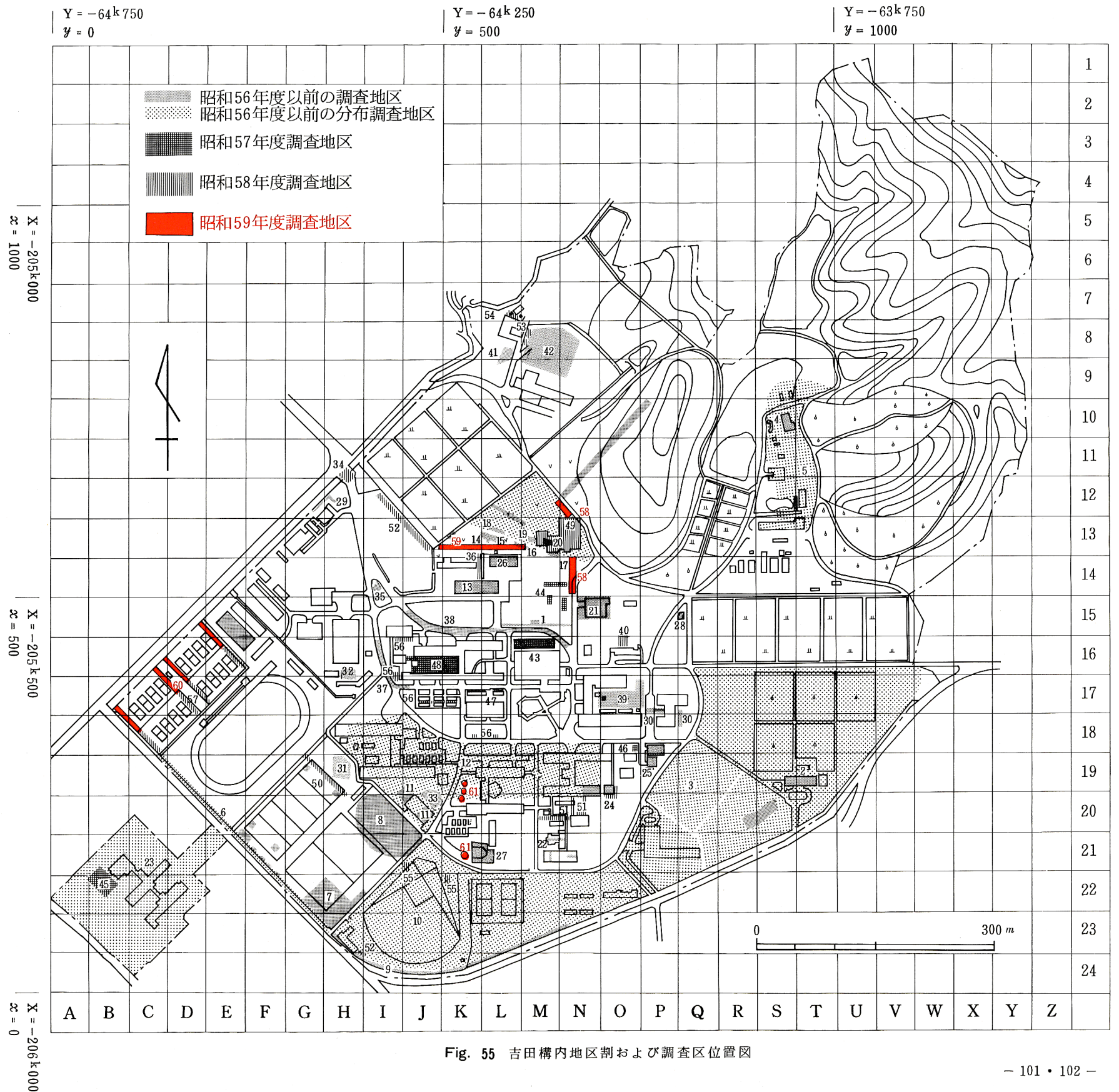


Fig. 55 吉田構内地区割および調査区位置図

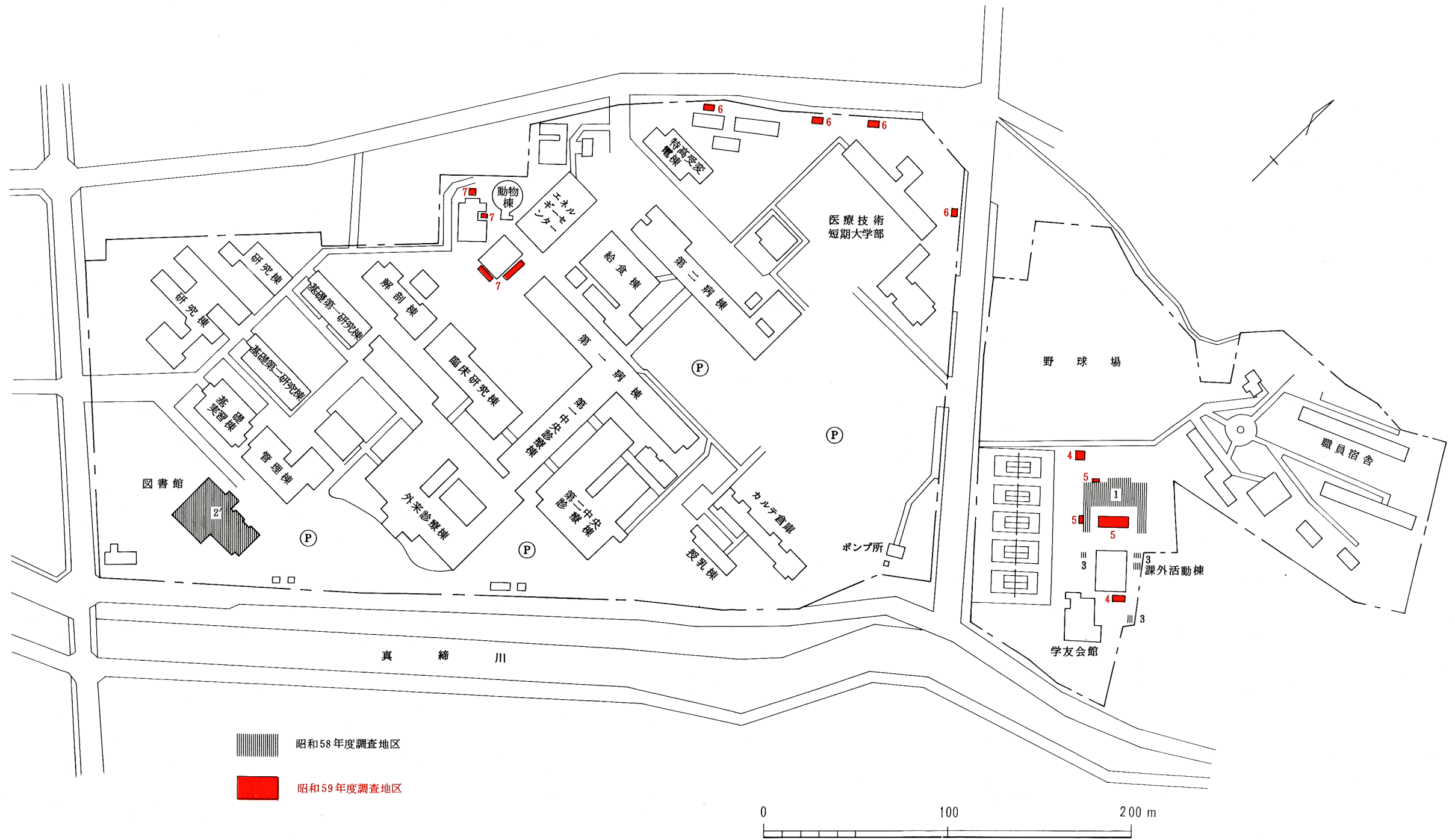


Fig. 56 小申構内調査区位置図